

平成30年度事業報告

1. 概要

平成30年度において、日本の経済は、企業活動や雇用を含む幅広い分野で、経済の循環が徐々に回復傾向になっておりますが、地方経済はまだ景気回復の実感が伴わない状況であります。総務省の「人口推計」によれば、平成29年10月1日付けでは、高齢化率が27.3%と4人に1人以上が高齢者の社会となっております。また、高齢者を支える現役世代の人数では、平成29年度では高齢者1人に対して現役世代が2.6人になっており、高齢化や労働力人口の減少の更なる進行が見込まれるなか、働く意欲のある高齢者に仕事を提供しているシルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要となっております、今まで以上に経験と能力を活かし発展させることが求められている状況であります。

そのような中、中間市シルバー人材センターの30年度の実績は、前年度と比較して受託事業収益では193万円の減額、生活支援総合事業では5万円の増額、独自事業収益は12万円の増額となり、労働者派遣事業受託収益では14万円の減額となりました。

公益社団法人中間市シルバー人材センターは、発注者から信頼され、地域に密着したセンターを目指すため、市等関係機関の支援を得ながら第3次中長期計画「センター基本指針（平成26年度から5年間）」に則って、センター事業のあり方や取組みを、役員及び会員が一体となって事業の推進を図りました。

本年度の事業運営につきましては、事業所、高齢者の方々に会員によりパンフレットの戸別配布やリーフレット等で普及啓発、就業機会開拓担当者による会員募集案内の配布及び地域の高齢者団体への案内等の、新規入会者の募集を行ったところ、36人の入会がありました。あわせて会員の口コミやイベント等でチラシの配布、事務局による企業訪問地域高齢者団体集会へ出席し、仕事の新規開拓を行いました。

適正就業については、厚生労働省発刊のシルバー人材センター適正就業ガイドライン「シルバー人材センターのご案内」のとおり請負、委任、派遣、職業紹介の形態例、保険の適用について、また就業の範囲「月に10日以内、週に20時間」等、を遵守することについて、役職員、会員、発注者に周知し、また新規入会者には、入会説明会時に説明を行いました。

安全就業につきましては、「災害ゼロ」の取り組みとして、常に安全意識を持たせたところですが、事故発生件数は6件で、昨年より5件増加となりました。

安全就業の更なる強化について、安全委員会やパトロールの強化、交通安全講習会等の開催や、センター全体の組織的な活動や就業会員が日々危険箇所の確認を行うなど、安全委員を中心に、職員、会員が一体となって災害ゼロを目指したところです。

平成30年度の事業報告につきましては、以下のとおり報告いたします。

(1) 普及啓発

高齢者の入会促進や就業機会の確保を図るため、センターの事業内容、会員募集、仕事の依頼等の啓発の為、各施設に啓発用資料を表示し、あわせて会員募集や仕事内容等の説明したパンフレットを市内各戸に配布いたしました。

(2) 社会参加活動

筑前中間やっちゃれ祭りに参加し、入会申込や受注の相談コーナーを開設し、会員の入会促進及び就業の開拓に努めました。

センターが行っている独自事業「刃物研ぎ」、「石焼芋販売」、「エアコン清掃」の活動内容を公開し、広くPRをいたしました。

中間東小学校の庭園の樹木剪定作業（15名の参加うち一般参加2名）及び、正会員を中心に清掃ボランティア（12名の参加）を行いました。

樹木剪定のボランティア活動は、会員の技能向上を図る講習会を兼ねており、今後も会場を変え開催して行きます。

(3) 安全就業対策・適正就業の徹底

平成20年度に発生した12件の事故をピークに減少傾向にありましたが、本年度については、会員の他への損害が5件、車の事故が1件、合計6件で、前年度より増加いたしました。「絶対に事故を起こさせない」をセンター全体の取組みとして、就業現場の安全パトロールなど、事故防止のため、安全委員会を中心にパトロールの回数を増やし強化して参りました。また、事故の詳細につきましては、2月に開催しました地域班会議及び3月に開催しました職群班会議において報告したところです。

安全対策の講習会の実施につきましては、高齢者の交通事故が多発していることから、折尾警察署交通第1課長を講師に招き、交通安全講習（65名参加）を開催し、安全意識の高揚に努めました。

適正就業につきましては、「月に10日・週に20時間」の遵守、また受付事務や施設管理の長期就業について、継続的に行う就業は1年で更新としますが、3年を超え同一就業先での就業は出来ないことを3月に開催した職群班会議で説明し実行しました。

(4) 相談事業

本年度から、入会説明会を毎月1回定期に開催し、更に入会を希望する高齢者を対象に随時相談を受け、本年度は36の方がセンター入会されました。

また、会員の就業に関する様々な相談につきまして本年度71件あり、その都度対応し会員とのコミュニケーションを図っています。

(5) 研修・講習事業

センターでは、7月に救急救命講習会（13名参加）を中間消防署職員より受講いたしました。10月に除草の安全作業（5名参加）を福岡クボタ営業技術主任矢口氏より受講し、同月下旬には交通安全講習会（65名参加）を折尾警察署交通一課長田中氏より、交通安全の講習を受講いたしました。11月には、剪定技能講習（15名参加）を樹木医吉岡氏より受講いたしました。12月開催した健康管理教室（71名参加）では、福岡水巻病院リハビリテーション科音地氏よりの転倒予防についての講習を受講いたしました。

また、1月開催の接遇及講習会（68名参加）では、ライフプラン 坂井玲子先生から「愛されるセンターになるために」～それで良い？あなたの接遇～というテーマで、シルバー事業にあわせたルール・マナー・第一印象の重要性等の講話をいただきました。